

しん えい 伸 叡 月 報

2026年9月号

夏期講習の授業記録をお送りいたします。

今年は9月に入ってから曇り空が多く、時折秋雨にも潤され、昨年に比べ気温が低めの日々が続く、夕方の訪れがやけに早く感じられる日々が続いておりますが、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、実質30日間行われました夏期講習も無事終了し、学校の新学期も始まりました。新しい内容の学習に加え、各種受験生にとっては志望校を絞り込み、どの方式で受験するかを吟味する時期です。とりわけ高校受験生にとっては、2学期評定と北辰偏差値の両方で結果を残し、志望校合格の可能性を高めたいところですし、また大学受験生にとっては、総合型選抜（AO入試）の出願の多くが9月から始まり、まさに大学入試の火ぶたが切られる緊張の時と言えます。

このように、来春の高校・大学への進学を控えている皆さんにとっては様々な動きが本格化する時期ですが、そうでない皆さんにとっても、各学年の中核をなす学習内容が目白押しとなります。無事新学期を迎えた時の心境を忘れず、新しく広がる世界に向けて着実に歩みを進めていきましょう。

とはいえ、今がまさに季節の変わり目であることに変わりはありません。冒頭にも触れたとおり、はっきりしない空模様で気温もさほど上がらないことで幾分過ごしやすい日々が続いてはいますが、「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉があるように、今後暑さが戻ることもあり得ます。体調を崩す原因にもなりますので、週間天気予報も確認しながら生活環境を整えるようにしましょう。



【教室からのお知らせ】

① すべての通塾生は、教室が開いている間いつでも、教室内で自習ができます。

特に定期試験に向けた学習においでください。

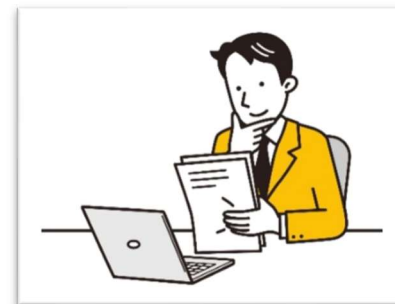
② 感染症対策を引き続きおこなってまいります。

手指消毒用アルコールを常備しております。ご遠慮なくお使いください。

学習のアドバイス

今回は、夏期講習の総括を兼ねて「国語の授業以外の場での国語」についてお話しします。

この夏期講習中の問題演習および希望者対象におこなった学力テストを通して、指導する側として痛感したのが、「問いの文が長くなると、何を聞かれているか以前の、『何の問題なのか』を読み取れなくなる生徒さんが増えた」ということです。



私たちが触れる教材では、問いの文はもちろん日本語で書かれています。普段から家族や友人と、会話その他のやり取りに使っている言語です。その時にはさほど不自由を感じることはないでしょう。その同じ言語で、学年相応向けに書かれた問題を、読み取れない。それはどういうことでしょうか。国語が苦手なのでしょうか。

言うまでもなく、私たちにとっての「国語」は「日本語」です。つまり国語の学習とはすなわち、日本語の学習ということになります。すると、問いの文を読めない人は国語が苦手、ということになりそうですが、実のところ、国語が苦手な人と問いの文を読み取れない人は必ずしも同一人物ではありません。

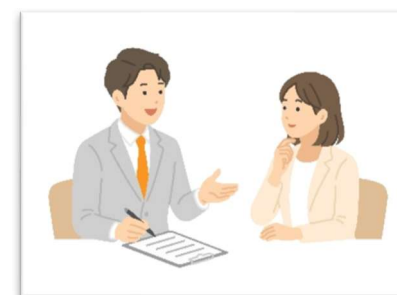
まず「国語が苦手」な人とは、単に「国語のテスト問題を解くのが苦手」な人のことです。それと同じ人が国語以外のテスト問題では問いの文がいくら長くても正解を出せる、という例も珍しいものではありません。このような人には、それこそ解き方を教えれば苦手を克服させることができます。

それでは、国語以外の問いの文を読んで、何の問題なのか読み取れない、という場合は、どう対処すればよいのでしょうか。

そうした傾向の見られる生徒さんに文の主語と述語を質問すると、述語は正しく答えられるものの、多くの場合、主語の方はなかなか正しい答えが返ってきません。述語すなわち「どうする」「どんなだ」「何だ」「ある・いる・ない」は文の最後にあってわかりやすいのですが、「何が」「誰が」には関心がないに等しく、主語につくことがあり得ない「を」「に」「で」が付いた言葉でも、そうと知らずに平気で主語として挙げてしまうのです。述語にあたる言葉と、それを修飾する言葉には関心が向くものの、それだけでは何についての話なのかを読み取ることはまず不可能です。話題も場面もつかむことは無理です。ましてや筆者や登場人物の立場などどこ吹く風でしょう。

文章読解は今後のコミュニケーションに向けた練習であり。シミュレーションでもあります。「何が」「誰が」すなわち主語を探すことは、いわば他者に向き合い、関心を持つ練習であると言えます。他者に歩み寄ることを知れば、主語が手に入るようにわかるようになるでしょう。

国語に限らず、一部を除くどの教科・科目の問題でも、日本国内では日本語で書かれています。問題文が長くなると初めからあきらめてしまう人も少なくありませんが、文章中に「何についての問題か」にあたる話題やテーマが必ず存在し、そこに複数ある文それぞれに主語がある（または補える）ので、それらさえ読み取れば、正解を阻む最も大きな障害が取り除かれます。そのテーマを踏まえたうえで「何を聞かれているのか」を見極めるのは容易なことです。ただし正解を出せるか否かは、また別の問題です。



9月授業スケジュール

日	月	火	水	木	金	土
		1 ○	2 ○	3 ○	4 ○	5 ○
6 休み	7 ○	8 ○	9 ○	10 ○	11 ○	12 ○
13 休み	14 ○	15 ○	16 ○	17 ○	18 ○	19 ○
20 休み	21 休み	22 休み	23 休み	24 ○	25 ○	26 ○
27 休み	28 ○	29 ○	30 ○			

10月授業スケジュール

日	月	火	水	木	金	土
				1 ○	2 ○	3 ○
4 休み	5 ○	6 ○	7 ○	8 ○	9 ○	10 ○
11 休み	12 休み	13 ○	14 ○	15 ○	16 ○	17 ○
18 休み	19 ○	20 ○	21 ○	22 ○	23 ○	24 ○
25 休み	26 ○	27 ○	28 ○	29 ○	30 ○	31 ○